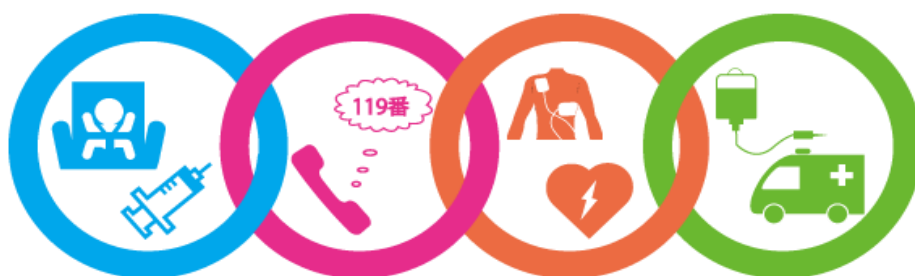


北見地区消防組合

令和5年救急統計



4年ぶりに開催となった集合型救急実動訓練
(上段・多数傷病者対応訓練、下段・救急活動実践訓練)



目 次

1	救急搬送の出動状況（出動件数、搬送人員の推移）	・ ・ ・ P1
2	地区別救急隊出動件数	・ ・ ・ P2～3
3	救急搬送の状況（活動時間の推移）	・ ・ ・ P3
4	傷病者年齢区分別搬送人員状況	・ ・ ・ P4～5
5	傷病程度別搬送人員状況	・ ・ ・ P6
6	急病に係る疾病分類項目別搬送人員状況	・ ・ ・ P7
7	急病に係る疾病分類項目別重症割合	・ ・ ・ P7
8	医療機関別搬送人員の状況及び管外搬送状況	・ ・ ・ P8～9
9	病院問合せ回数	・ ・ ・ P10
10	三次・二次医療機関への搬送状況	・ ・ ・ P10
11	特定行為等の実施状況	・ ・ ・ P11
12	応急手当の実施及び救命効果	・ ・ ・ P11
13	救命講習実施状況	・ ・ ・ P12
14	市民による応急手当実施状況	・ ・ ・ P13
15	口頭指導による応急手当実施不可理由	・ ・ ・ P14
16	周産期救急の出動状況	・ ・ ・ P14
17	ドクターカー出動状況	・ ・ ・ P14
18	新型コロナウイルス感染者対応状況	・ ・ ・ P15

1 救急搬送の出動状況（出動件数、搬送人員の推移）

令和5年中の救急出動件数は7,058件で前年より4.5%（302件）増加し、搬送人員は6,272人で前年より3.4%（207人）増加している。（図1-1、表1-1、表1-2）

図1-1 救急件数の推移（北見地区）

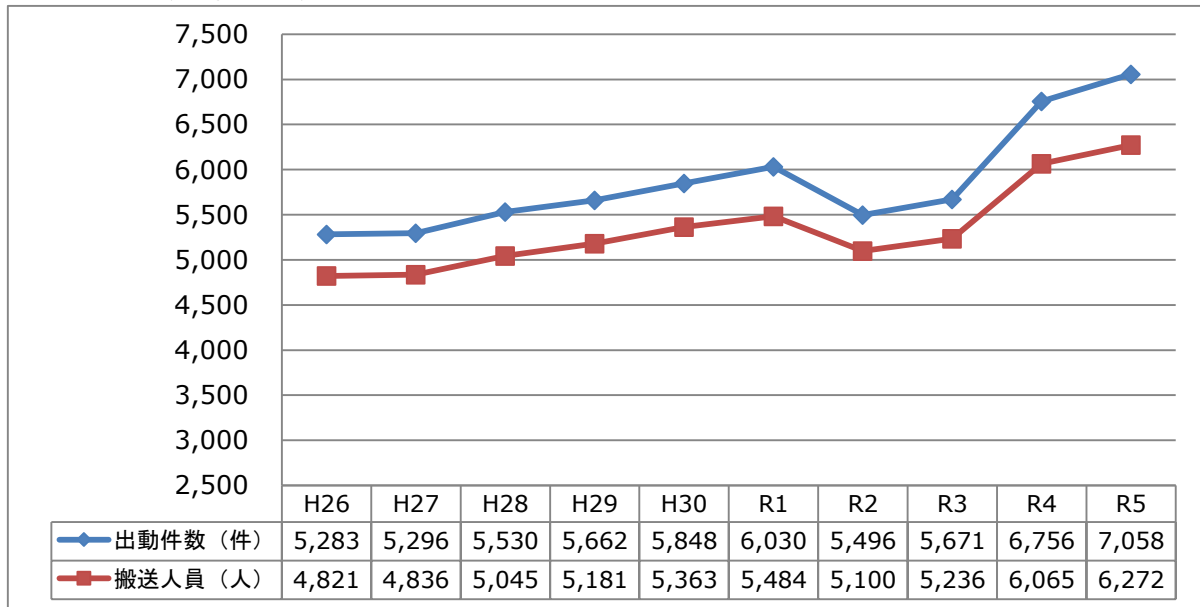


表1-1 年別出動件数内訳

救急隊 年	署	西	東	南	端野	常呂	留辺蘂	本部	北見合計	置戸	訓子府	支署合計	組合合計	前年比	
H26	2,155	1,562	18	8	596	164	399	13	4,915	152	216	368	5,283	110	2.1%
H27	1,818	1,444	654	7	363	197	426	21	4,930	160	206	366	5,296	13	0.2%
H28	1,788	1,432	997	9	340	172	379	13	5,130	172	228	400	5,530	234	4.4%
H29	1,832	1,567	957	12	337	181	378	18	5,282	182	198	380	5,662	132	2.4%
H30	1,919	1,553	1,022	13	343	172	431	18	5,471	160	217	377	5,848	186	3.3%
R1	1,891	1,595	1,148	19	341	184	430	20	5,628	179	223	402	6,030	182	3.1%
R2	1,741	1,485	987	15	299	189	393	22	5,131	146	219	365	5,496	△ 534	△ 8.9%
R3	1,772	1,524	1,081	42	343	171	343	46	5,322	134	215	349	5,671	175	3.2%
R4	2,084	1,864	1,307	76	386	172	407	36	6,332	150	274	424	6,756	1,085	19.1%
R5	2,288	1,898	1,377	59	373	186	423	16	6,620	179	259	438	7,058	302	4.5%

表1-2 年別搬送人員内訳

救急隊 年	署	西	東	南	端野	常呂	留辺蘂	本部	北見合計	置戸	訓子府	支署合計	組合合計	前年比	
H26	1,921	1,451	7	5	551	156	367	13	4,471	149	201	350	4,821	35	0.7%
H27	1,633	1,324	595	6	335	179	406	15	4,493	154	189	343	4,836	15	0.3%
H28	1,618	1,335	884	7	313	156	349	10	4,672	161	212	373	5,045	209	4.3%
H29	1,645	1,479	856	8	314	163	344	11	4,820	175	186	361	5,181	136	2.7%
H30	1,746	1,454	921	9	312	162	400	16	5,020	149	194	343	5,363	182	3.5%
R1	1,736	1,439	1,047	13	314	164	388	17	5,118	163	203	366	5,484	121	2.3%
R2	1,631	1,370	922	14	275	181	355	20	4,768	139	193	332	5,100	△ 384	△ 7.0%
R3	1,630	1,406	991	40	323	161	321	40	4,912	124	200	324	5,236	136	2.7%
R4	1,868	1,656	1,177	65	346	165	375	32	5,684	138	243	381	6,065	829	15.8%
R5	1,978	1,723	1,220	51	340	176	378	13	5,879	167	226	393	6,272	207	3.4%

2 地区別救急隊出動件数

令和5年中の地区別救急隊出動件数は、北見で前年より4.5%増加の6,620件、置戸は前年より19.3%増加の179件、訓子府は前年より5.5%減少の259件となっている。

(表2-1)

自治区別救急隊出動件数では、北見は前年より5.0%増加の5,638件、端野は前年より3.4%減少の373件、常呂は前年より8.1%増加の186件、留辺蘂は前年比3.9%増加の423件となっている。(表2-2)

事故種別割合は、急病4,793件(67.9%)による救急出動が大半を占め、一般負傷932件(13.2%)、転院搬送547件(7.7%)、交通事故281件(4.0%)となっている。(図2-1)

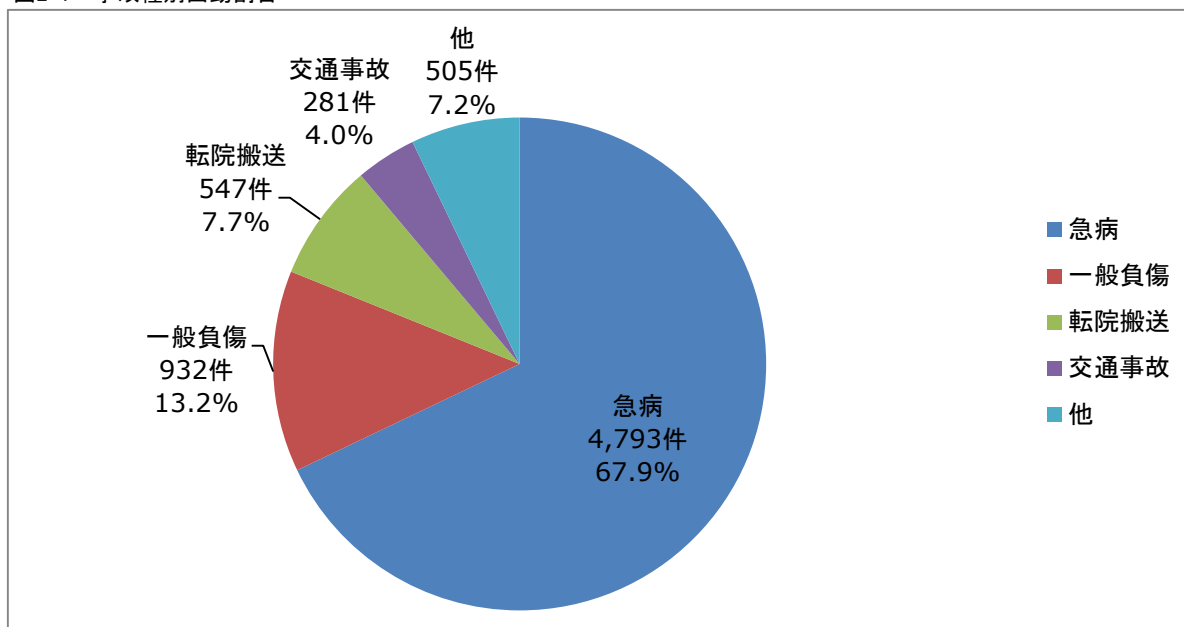
表2-1 地区別救急隊出動件数

事故種別		火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	転	医	資	そ	計
		災	然	難	通	働	動	般	害	損	病	院	師	機	の	
地区別		災	害	難	故	害	技	傷	害	為	病	送	送	輸	他	
合	出動件数	38	3	0	281	89	38	932	8	89	4,793	547	2	0	238	7,058
	増減数	6	3	△4	△12	7	5	8	△3	19	222	18	0	0	33	302
	搬送人員	4	5	0	252	88	37	855	6	68	4,418	539	0	0	0	6,272
計北	増減数	△2	5	△1	△9	6	5	△2	△3	13	171	26	0	0	△2	207
	出動件数	34	3	0	262	77	33	874	6	86	4,506	511	2	0	226	6,620
	増減数	8	3	△3	△9	9	2	14	△5	18	195	19	0	0	37	288
見置	搬送人員	4	5	0	234	76	32	802	5	65	4,152	504	0	0	0	5,879
	増減数	△1	5	0	△13	8	2	3	△4	10	159	28	0	0	△2	195
	出動件数	1	0	0	12	7	2	20	2	1	98	32	0	0	4	179
戸訓	増減数	△2	0	△1	5	3	2	0	2	△1	25	△4	0	0	0	29
	搬送人員	0	0	0	13	7	2	20	1	1	91	32	0	0	0	167
	増減数	0	0	△1	8	3	2	0	1	1	19	△4	0	0	0	29
子府	出動件数	3	0	0	7	5	3	38	0	2	189	4	0	0	8	259
	増減数	0	0	0	△8	△5	1	△6	0	2	2	3	0	0	△4	△15
	搬送人員	0	0	0	5	5	3	33	0	2	175	3	0	0	0	226
	増減数	△1	0	0	△4	△5	1	△5	0	2	△7	2	0	0	0	△17

表2-2 自治区別救急隊出動件数

事故種別		火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	転	医	資	そ	計
		災	然	難	通	働	動	般	害	損	病	院	師	機	の	
地区別		災	害	難	故	害	技	傷	害	為	病	送	送	輸	他	
合	出動件数	34	3	0	262	77	33	874	6	86	4,506	511	2	0	226	6,620
	増減数	8	3	△3	△9	9	2	14	△5	18	195	19	0	0	37	288
	搬送人員	4	5	0	234	76	32	802	5	65	4,152	504	0	0	0	5,879
計北	増減数	△1	5	0	△13	8	2	3	△4	10	159	28	0	0	△2	195
	出動件数	24	3	0	210	49	28	751	6	78	3,855	431	2	0	201	5,638
	増減数	2	3	△2	△9	3	6	27	△4	17	185	8	0	0	35	271
見端	搬送人員	3	5	0	183	49	28	687	5	60	3,539	426	0	0	0	4,985
	増減数	△2	5	0	△13	4	7	19	△4	11	147	15	0	0	△2	187
	出動件数	2	0	0	32	11	3	53	0	3	223	36	0	0	10	373
野常	増減数	2	0	△1	4	6	△4	△6	△1	1	△24	8	0	0	2	△13
	搬送人員	1	0	0	30	11	3	49	0	2	210	34	0	0	0	340
	増減数	1	0	0	△1	6	△4	△8	0	1	△11	10	0	0	0	△6
留辺	出動件数	2	0	0	5	6	1	20	0	0	130	20	0	0	2	186
	増減数	0	0	0	△3	5	0	△3	0	△1	19	△3	0	0	0	14
	搬送人員	0	0	0	7	6	0	20	0	0	123	20	0	0	0	176
蘂	増減数	0	0	0	0	5	△1	△3	0	△1	14	△3	0	0	0	11
	出動件数	6	0	0	15	11	1	50	0	5	298	24	0	0	13	423
	増減数	4	0	0	△1	△5	0	△4	0	1	15	6	0	0	0	16
薬	搬送人員	0	0	0	14	10	1	46	0	3	280	24	0	0	0	378
	増減数	0	0	0	1	△7	0	△5	0	△1	9	6	0	0	0	3

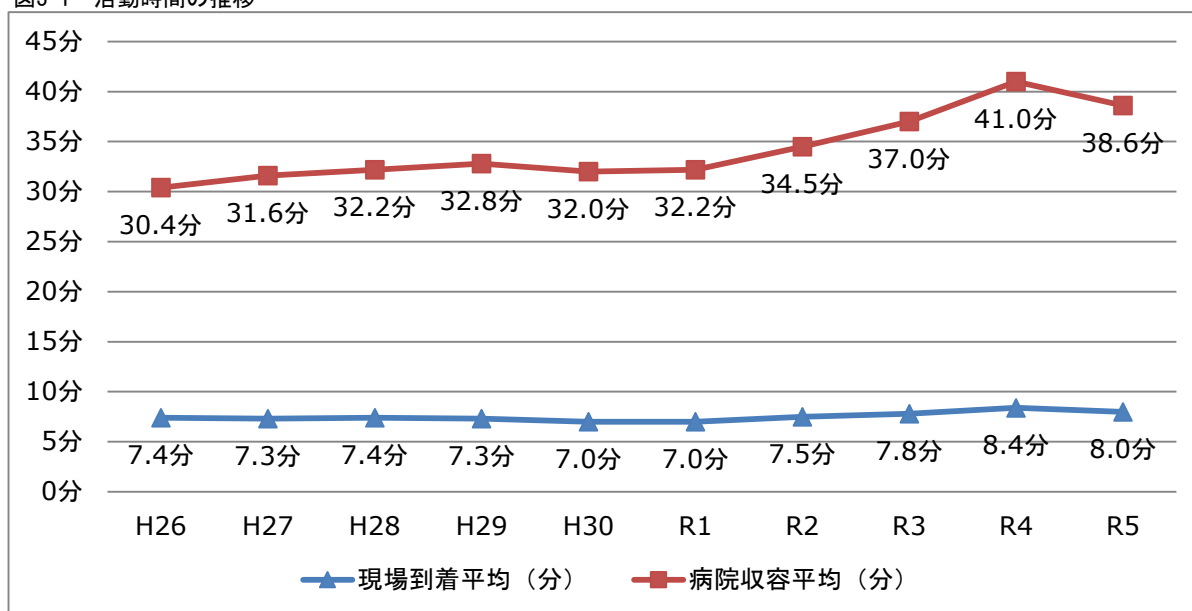
図2-1 事故種別出動割合



3 救急搬送の状況（活動時間の推移）

令和5年中の現場到着までの平均時間は8.0分、病院収容までの平均時間は38.6分となっている。（図3-1）

図3-1 活動時間の推移



4 傷病者年齢区分別搬送人員状況

令和5年中の搬送人員6,272人に対し、年齢区分における高齢者（65歳以上）の搬送人員は4,153人となり、全体の66.2%を占めている。（表4-1、図4-1）

高齢者搬送人員は令和2年からは減少傾向となるも、新型コロナウイルス感染症拡大の影響があったものと推測され、令和4年からは、例年どおり上昇傾向に推移した。（表4-2、図4-2）

表4-1 年齢区分別搬送種別状況

事故種別		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	計
年齢区分		災	害	難	故	害	技	傷	害	為	病	送	他	
新生児	R5	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	8	0	10
	増減	0	0	0	0	0	0	1	0	0	△ 1	△ 4	0	△ 4
乳幼児	R5	0	0	0	5	0	0	36	1	0	178	6	0	226
	増減	0	0	0	1	0	0	△ 7	0	0	37	△ 3	0	28
少年	R5	0	0	0	26	0	21	18	0	6	110	6	0	187
	増減	0	0	0	5	0	△ 1	△ 11	0	4	29	0	0	26
成人	R5	1	5	0	149	63	14	129	5	52	1,134	144	0	1,696
	増減	△ 3	5	0	△ 4	7	6	10	△ 3	7	85	37	0	147
前期高齢者	R5	0	0	0	31	19	1	144	0	5	733	81	0	1,014
	増減	△ 1	0	△ 1	△ 15	0	0	36	0	2	45	△ 8	△ 1	57
後期高齢者	R5	3	0	0	41	6	1	527	0	5	2,262	294	0	3,139
	増減	2	0	0	4	△ 1	0	△ 31	0	0	△ 24	4	△ 1	△ 47
計		4	5	0	252	88	37	855	6	68	4,418	539	0	6,272

【年齢分類】

新生児＝生後28日未満

乳幼児＝28日以上7歳未満

少年＝7歳以上18歳未満

成人＝18歳以上65歳未満

前期高齢者＝65歳以上75歳未満

後期高齢者＝高齢者のうち75歳以上

図4-1 傷病者年齢区分別搬送人員状況

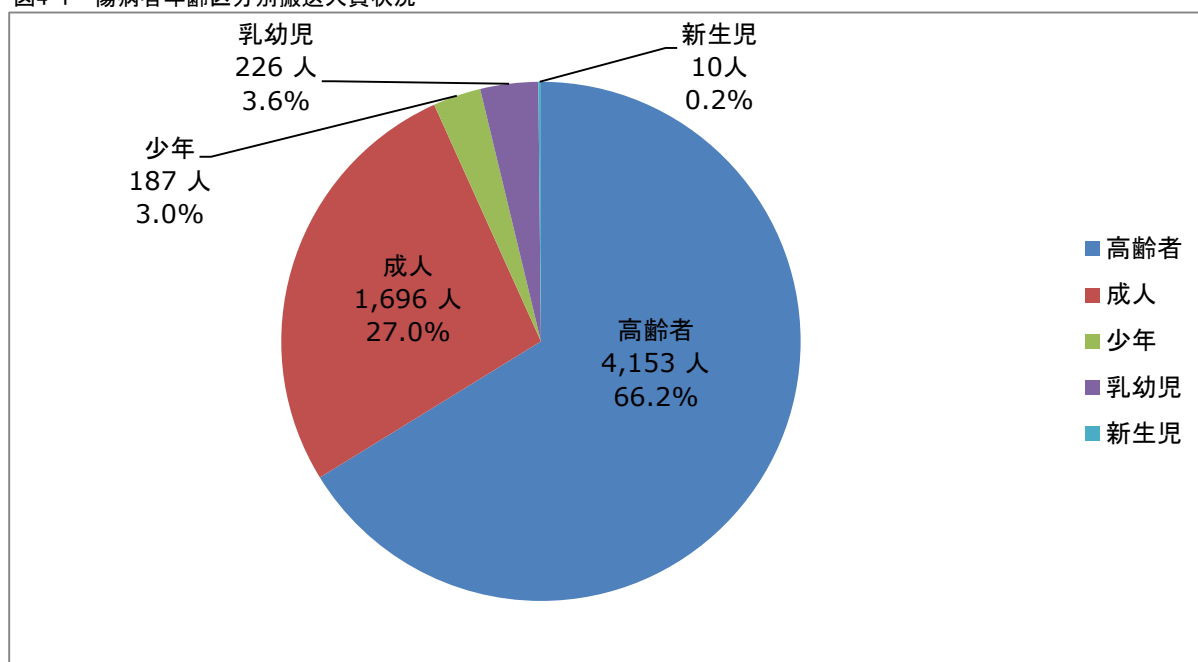
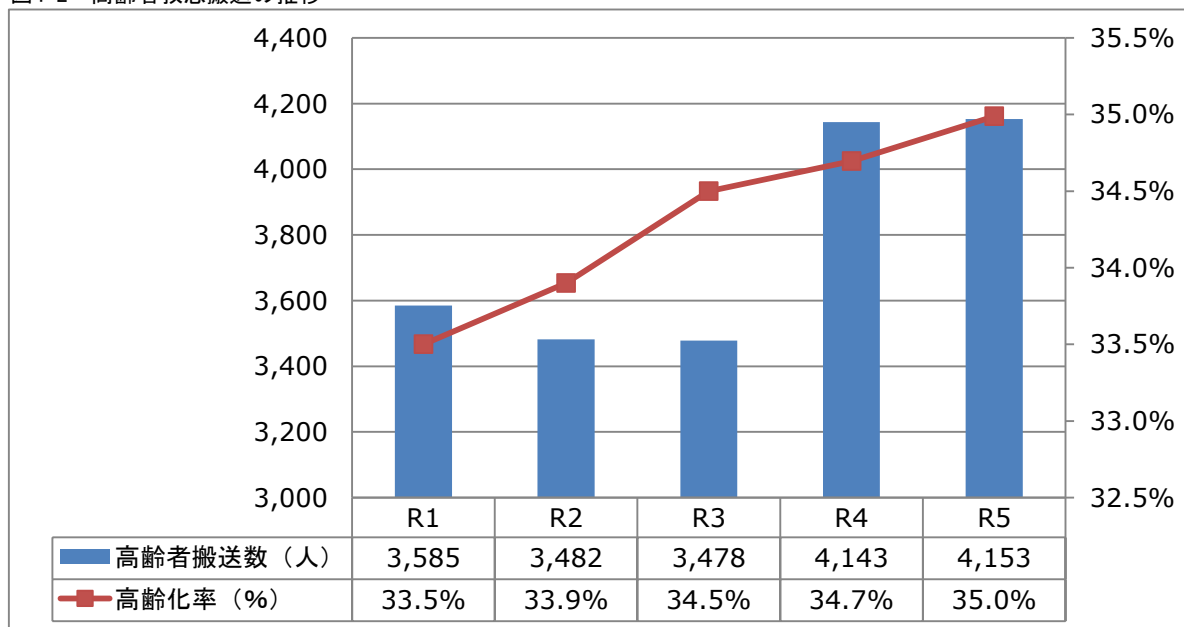


表4-2 高齢者搬送人員状況

項目	年	R1		R2		R3		R4		R5	
		搬送人員	増減	搬送人員	増減	搬送人員	増減	搬送人員	増減	搬送人員	増減
急病		2,542	230	2,410	△ 132	2,485	75	2,974	489	2,995	21
一般負傷		527	△ 14	543	16	546	3	666	120	671	5
交通事故		71	△ 18	84	13	73	△ 11	83	10	72	△ 11
他		445	3	445	0	374	△ 71	420	46	415	△ 5
計		3,585	201	3,482	△ 103	3,478	△ 4	4,143	665	4,153	10
うち老健施設から		473	8	557	84	558	1	705	147	663	△ 42

図4-2 高齢者救急搬送の推移



※高齢化率は各年11月末の統計（北見市、置戸町、訓子府町から抜粋）

※高齢者搬送者数は延べ人数

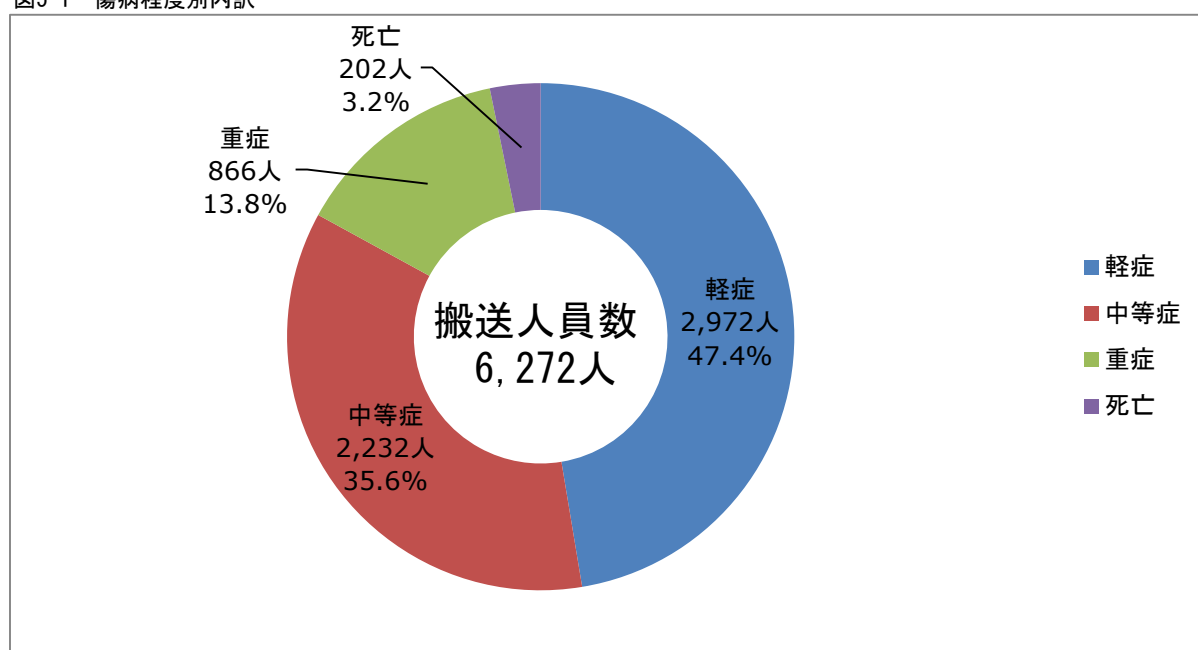
5 傷病程度別搬送人員状況

令和5年中の搬送人員6,272人のうち、中等症、重症、死亡の傷病者の割合は52.6%、入院加療を必要としない軽症の傷病者の割合は47.4%となっている。
(表5-1、図5-1)

表5-1 傷病程度分類

事故種別 程度		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	計	割合(%)
死亡	R5	0	0	0	4	0	0	12	0	9	175	2	0	202	3.2
	増減	0	0	△1	0	0	0	3	0	4	△7	△2	0	△3	
重症	R5	1	0	0	13	14	0	149	0	12	560	117	0	866	13.8
	増減	0	0	0	1	2	0	22	0	4	96	19	0	144	
中等症	R5	1	3	0	31	21	1	237	2	25	1,551	360	0	2,232	35.6
	増減	△2	3	0	△14	△6	△8	△25	1	0	△72	16	△1	△108	
軽症	R5	2	2	0	204	53	36	457	4	22	2,132	60	0	2,972	47.4
	増減	0	2	0	4	10	13	△2	△4	5	154	△7	△1	174	
計		4	5	0	252	88	37	855	6	68	4,418	539	0	6,272	100

図5-1 傷病程度別内訳



※死亡とは、初診時において死亡が確認されたもの

※重症とは、傷病程度が3週間の入院加療を必要とするもの

※中等症とは、傷病程度が重症又は軽症以外のもの

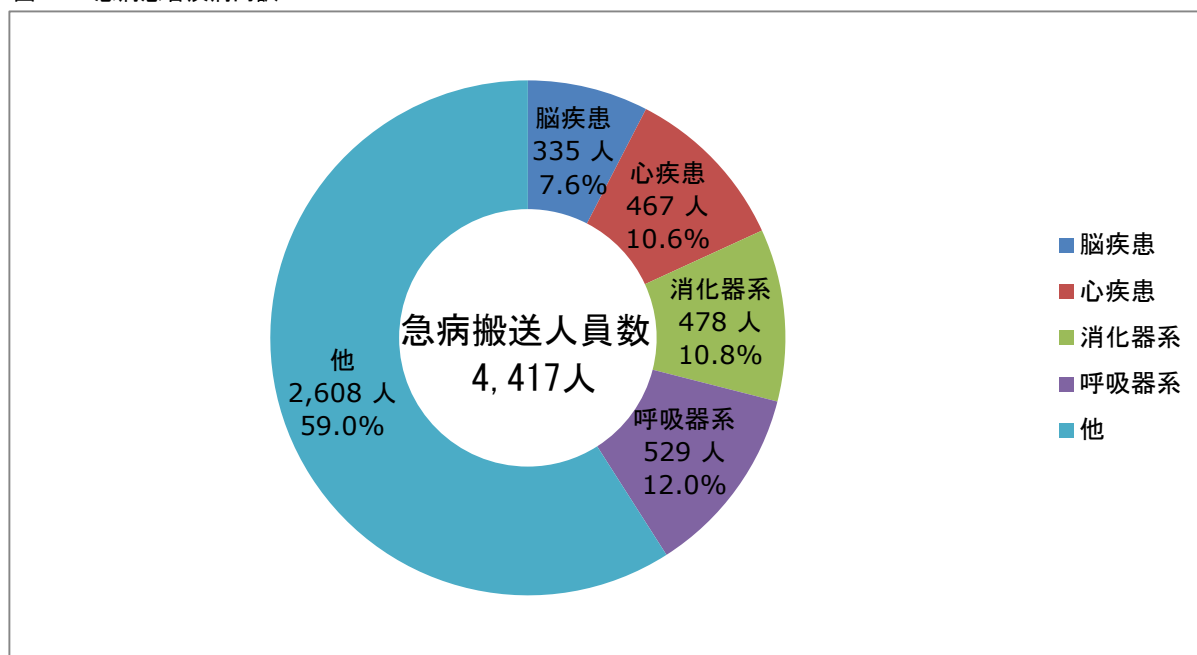
※軽症とは、傷病程度が入院加療を必要としないもの

※その他とは、医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないもの、並びにその他の場所に搬送したもの

6 急病に係る疾病分類項目別搬送人員状況

令和5年中の急病の搬送人員内訳を世界保健機構（WHO）の国際疾病分類の項目別で見ると、脳疾患335人（7.6%）、心疾患467人（10.6%）、消化器系478人（10.8%）、呼吸器系529人（12.0%）となっている。（図6-1）

図6-1 急病患者疾病内訳



7 急病に係る疾病分類項目別重症割合

令和5年中の急病の疾病分類項目別に重症以上の割合をみると、脳疾患（34.9%）、新生物（29.1%）、呼吸器疾患（25.5%）の順となっている。（表7-1）

表7-1 疾病分類項目別重症割合

種別 項目	脳疾患	心疾患	消化器系	呼吸器系	精神系	感覚系	泌尿器系	新生物	その他	症状・徴候 診断名 不明確	計
搬送人員	335	467	478	529	85	143	181	55	2,109	35	4,417
重症以上	117	109	70	135	6	6	26	16	240	10	735
割合 (%)	34.9	23.3	14.6	25.5	7.1	4.2	14.4	29.1	11.4	28.6	16.6

8 医療機関別搬送人員の状況及び管外搬送状況

令和5年中の搬送人員6,272人のうち北見赤十字病院への搬送が2,787人（44.5%）で、約半数を占めている。（表8-1）救急車による管外搬送は42件で、前年より5件減少している。地域別では、美幌町への搬送と女満別空港（航空機）への搬送が増加している点が特徴的である。（表8-2、図8-1）

表8-1 医療機関別搬送人員内訳

種別		急病	交通事故	一般負傷	転院搬送	それ以外	合計
病院名							
北見赤十字病院	人数	1,847	92	304	424	120	2,787
	割合(%) 増減	29.5 △ 108	1.5 △ 13	4.8 △ 40	6.8 21	1.9 5	44.5 △ 135
小林病院	人数	564	71	230	36	24	925
	割合(%) 増減	9.0 △ 69	1.1 △ 10	3.7 17	0.6 △ 3	0.4 △ 7	14.7 △ 72
北星記念病院	人数	330	12	45	6	7	400
	割合(%) 増減	5.3 27	0.2 3	0.7 2	0.1 △ 4	0.1 3	6.4 31
道東の森総合病院	人数	1,091	68	226	16	44	1,445
	割合(%) 増減	17.4 287	1.1 16	3.6 35	0.3 13	0.7 20	23.0 371
道立北見病院	人数	79	0	1	19	0	99
	割合(%) 増減	1.3 18	0.0 0	0.0 △ 1	0.3 3	0.0 0	1.6 20
林-ツ勤医協北見病院	人数	180	4	6	3	1	194
	割合(%) 増減	2.9 21	0.1 3	0.1 1	0.0 2	0.0 0	3.1 27
JA常呂厚生病院	人数	69	1	11	1	0	82
	割合(%) 増減	1.1 2	0.0 △ 1	0.2 △ 2	0.0 0	0.0 0	1.3 △ 1
置戸赤十字病院	人数	131	3	9	2	6	151
	割合(%) 増減	2.1 10	0.0 3	0.1 2	0.0 2	0.1 4	2.4 21
その他組合内医療機関	人数	114	0	19	8	6	147
	割合(%) 増減	1.8 △ 15	0.0 △ 10	0.3 △ 19	0.1 △ 2	0.1 △ 4	2.3 △ 50
組合外医療機関搬送	人数	13	1	4	24	0	42
	割合(%) 増減	0.2 △ 2	0.0 0	0.1 3	0.4 △ 6	0.0 0	0.7 △ 5
合計	人数	4,418	252	855	539	208	6,272
	割合(%) 増減	70.5 171	4.0 △ 9	13.6 △ 2	8.6 26	3.3 21	100 207

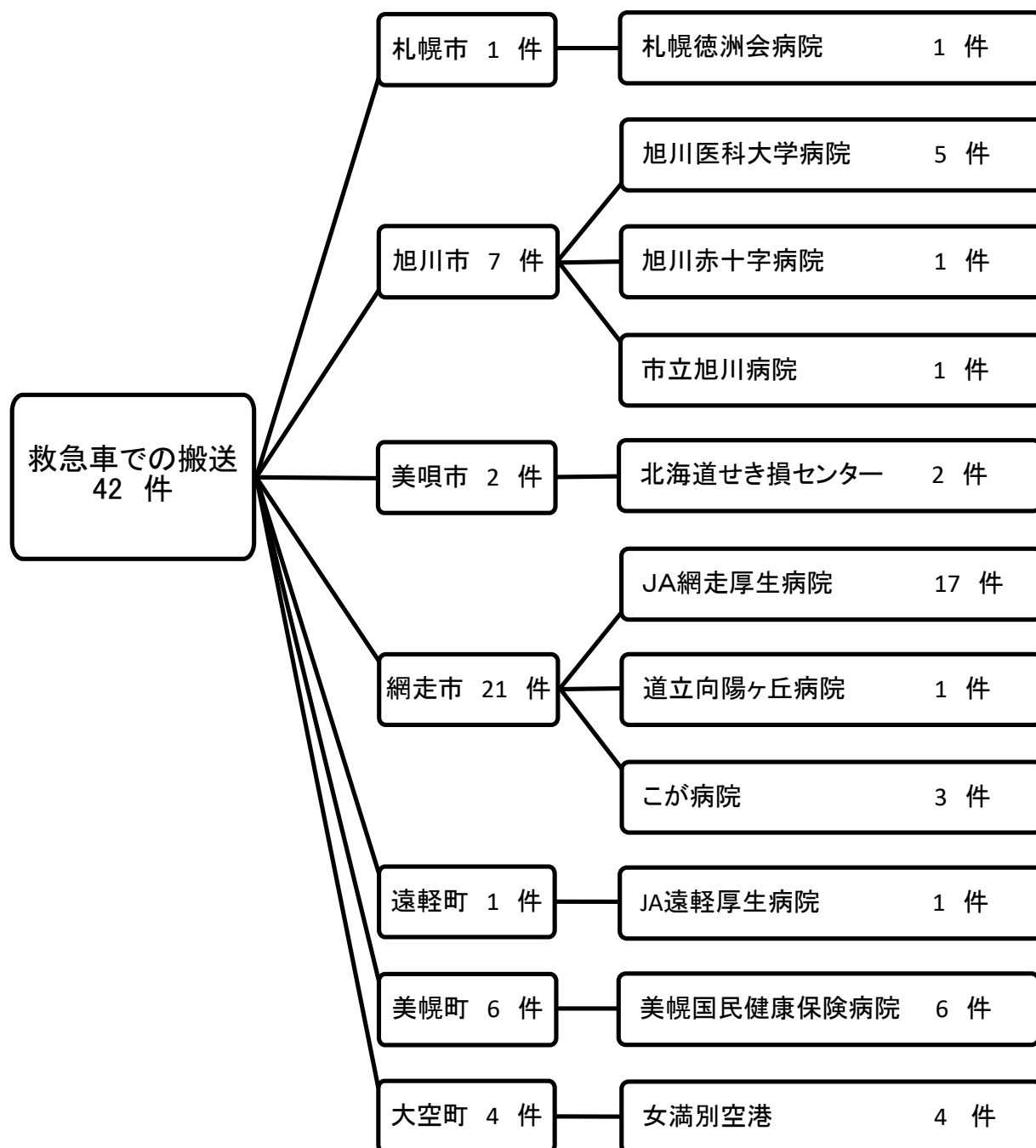
※搬送割合は全搬送人員に対する割合

※増減数は前年と比較しての増減

表8-2 年別管外搬送状況（救急車）

	札幌市	旭川市	釧路市	帯広市	女満別空港	その他
R1	4	15	0	0	2(札幌市、宮崎県)	14(内網走市以外2)
R2	6	11	0	2	2(札幌市)	24(内網走市以外4)
R3	3	8	0	0	1(札幌市)	24(内網走市以外4)
R4	6	10	1	0	1(札幌市)	29(内網走市以外4)
R5	1	7	0	0	4(札幌市)	30(内網走市以外9)

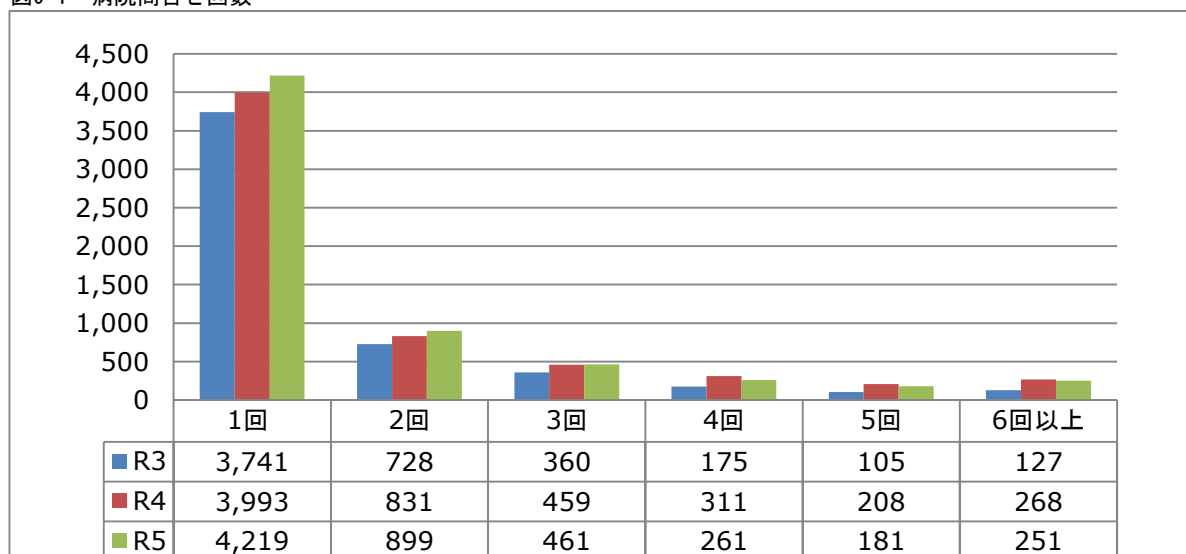
図8-1 管外搬送状況内訳



9 病院問合せ回数

令和5年中の傷病者受け入れに係る病院問合せ回数のうち、1回で決定したものは4,219件（67.3%）、4回以上（最多19回）で決定したものは693件（11.0%）となっている。（図9-1）

図9-1 病院問合せ回数



10 三次・二次医療機関への搬送状況

令和5年中の三次医療機関への搬送人員は前年と比べ142人減少している。CPA（心肺停止傷病者）の搬送は203人中158人、77.8%が三次医療機関へ搬送されている。（表10-1）

表10-1 三次・二次医療機関搬送状況

項目		事故種別									
		急病	一般負傷	交通事故	労働災害	自損行為	加害	運動競技	転院搬送	その他（火災等）	計
三次医療機関	搬送人員	1,847	304	92	40	55	4	16	430	5	2,793
	搬送割合（%）	29.4	4.8	1.5	0.6	0.9	0.1	0.3	6.9	0.1	44.5
	CPA搬送人員	132	11	4	0	10	0	0	1	0	158
二次医療機関	搬送人員	2,378	531	159	46	11	2	19	75	4	3,225
	搬送割合（%）	37.9	8.5	2.5	0.7	0.2	0.0	0.3	1.2	0.1	51.4
	CPA搬送人員	33	4	0	0	1	0	0	0	0	38

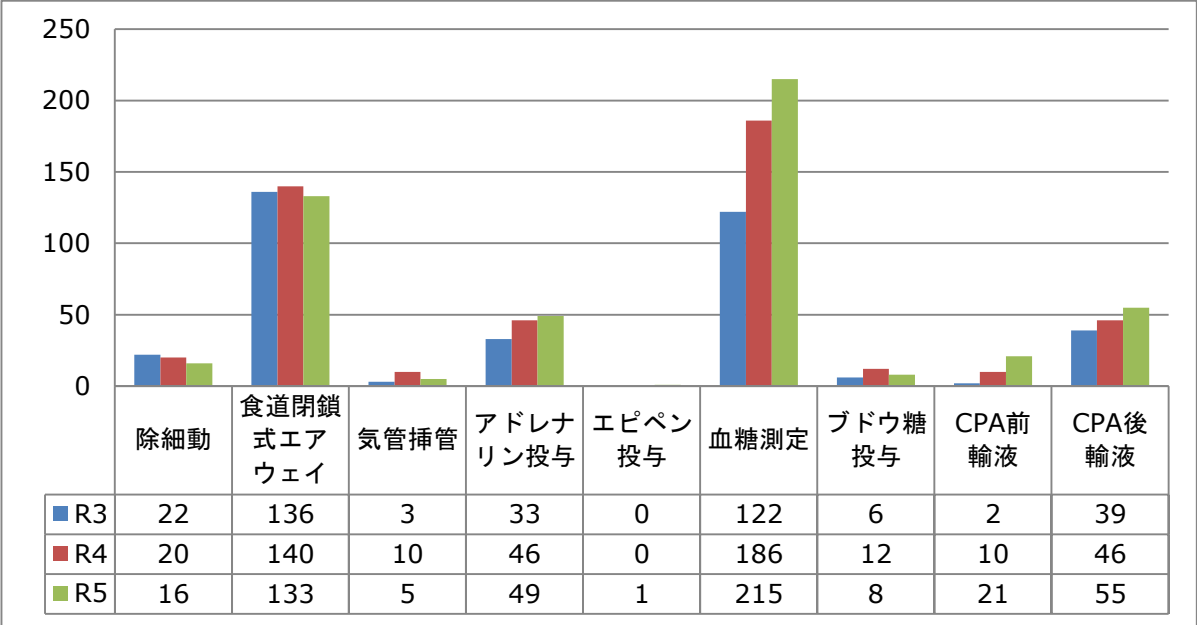
※CPA搬送人員…一次医療機関搬送7人（道立4、北見循環器3）

11 特定行為等の実施状況

特定行為等の実施状況について、心肺停止及び呼吸停止傷病者搬送事案203件のうち器具を用いた気道確保は138件（68.0%）実施されており、内訳として食道閉鎖式エアウェイ133件（65.5%）、気管挿管5件（2.5%）であった。また、心肺停止後の静脈路確保は55件（27.1%）実施され、アドレナリン投与は49件（24.1%）となっている。

平成27年から可能となったブドウ糖投与は低血糖判定20件のうち8件、心肺停止前重度傷病者に対する輸液は21件実施した。（図11-1）

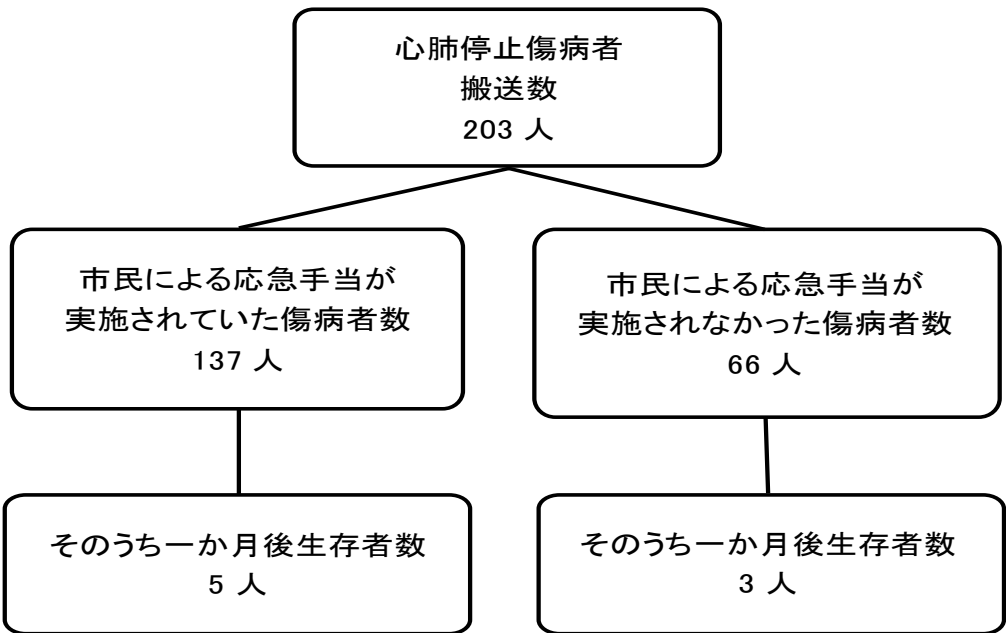
図11-1 特定行為等実施状況



12 応急手当の実施及び救命効果

令和5年中の心肺停止傷病者搬送数は203人であり前年より1人減少した。一か月後生存者は8人（3.9%）であった。（図12-1）

図12-1 応急手当の実施及び救命効果



※令和5年の1ヶ月後生存者数については、1ヶ月後の調査により確定値となるため速報値として報告する
※ここでの応急手当とは、胸骨圧迫のみ実施もしくは心肺蘇生実施の数値

13 救命講習実施状況

過去3年の救命講習実施状況は、普通救命講習及び一般講習等合わせて255回の実施、延べ5,448人の受講となっている。（表13-1）

表13-1 応急手当普及啓発講習会実施状況（過去3年間）

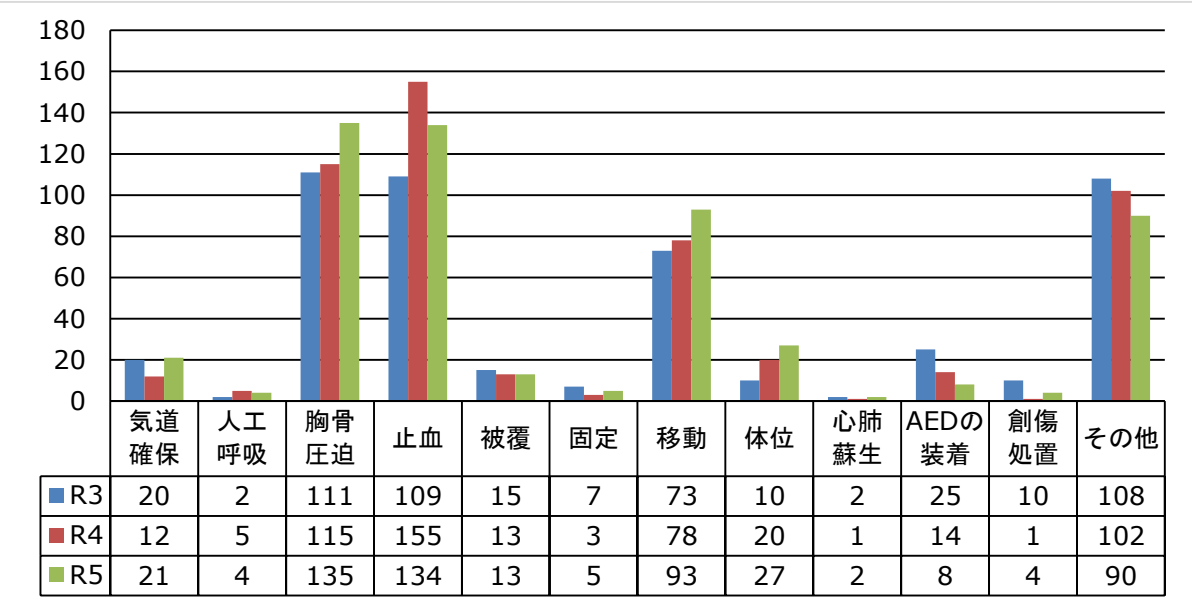
年	講習(種類)		回数(回)	人数(人)
R3	普通救命講習	普通Ⅰ	19	533
		普通Ⅱ	0	0
		普通Ⅲ(小児)	0	0
	短時間救命講習	学校関係	25	480
		職域関係	16	253
		一般	0	0
	上級救命講習		0	0
	応急手当普及員講習		3	13
	応急手当指導員講習		1	3
	患者等搬送事業者		1	2
	計		65	1,284
R4	普通救命講習	普通Ⅰ	28	645
		普通Ⅱ	0	0
		普通Ⅲ(小児)	0	0
	短時間救命講習	学校関係	24	760
		職域関係	8	78
		一般	2	35
	上級救命講習		0	0
	応急手当普及員講習		2	4
	応急手当指導員講習		1	2
	患者等搬送事業者		0	0
	計		65	1,524
R5	普通救命講習	普通Ⅰ	73	1,169
		普通Ⅱ	1	10
		普通Ⅲ(小児)	0	0
	短時間救命講習	学校関係	24	880
		職域関係	9	175
		一般	14	382
	上級救命講習		1	13
	応急手当普及員講習		1	8
	応急手当指導員講習		1	2
	患者等搬送事業者		1	1
	計		125	2,640
	合計		255	5,448

14 市民による応急手当実施状況

令和5年の市民による応急手当の実施状況は、胸骨圧迫の実施件数が137件と最も多く、次いで止血が134件、移動が93件の順となっている。また、市民によるAED装着は8件であり、うち1件で電気ショックが行なわれていた。（図14-1）

119番通報時に指令員が実施する口頭指導での応急手当の実施状況は、胸骨圧迫が最多で52.3%の実施率となっている。（図14-2）

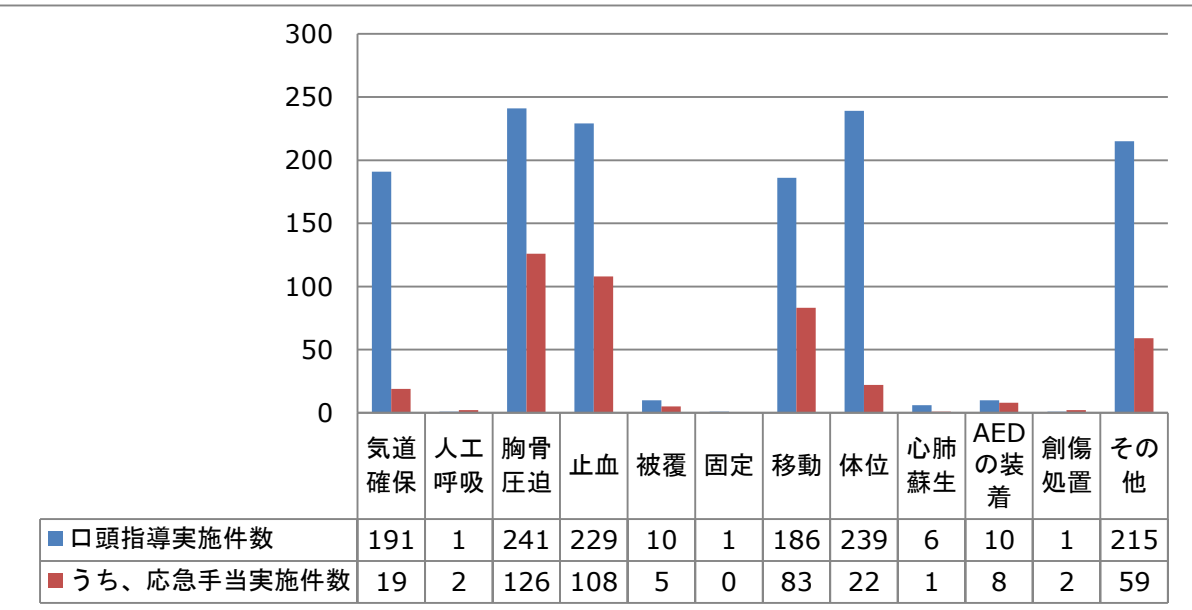
図14-1 市民による応急手当実施状況



※心肺蘇生は、人工呼吸と胸骨圧迫の両方を実施

※その他は、上記以外の換気や冷却・異物除去などの処置

図14-2 口頭指導・応急手当実施状況対比表

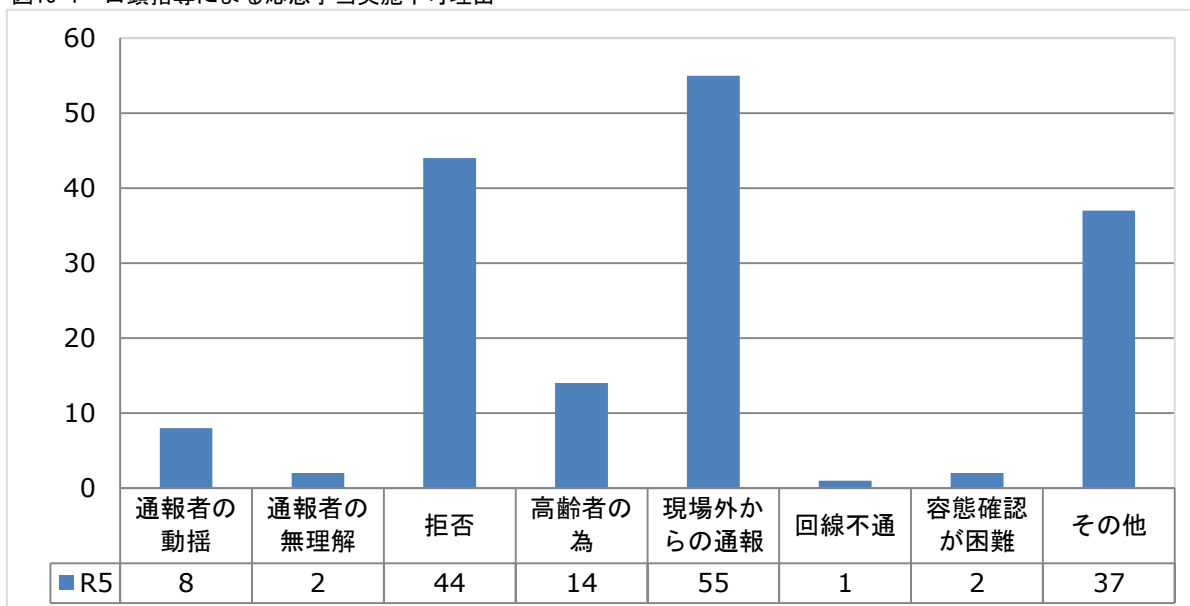


※一事案で複数項目の口頭指導を実施している事案を含む

15 口頭指導による応急手当実施不可理由

口頭指導を行なったが応急手当を実施できなかった理由として、現場外からの通報の55件が最も多く、拒否44件、高齢者の為が14件と続いている。その他の内訳としては「移動不可、協力者不在、資器材なし」等がある。（図15-1）

図15-1 口頭指導による応急手当実施不可理由



※すべての救急事案で聴取することは不可能なため、聴取可能だった事案のみ統計に反映

16 周産期救急の出動状況

令和5年の周産期救急は9件（0.1%）で、病院前分娩は0件であった。周産期救急における搬送状況は転院搬送が5件（55.6%）となっている。（表16-1）

表16-1 自宅分娩及び車中分娩件数

H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
1件	0件	2件	1件	1件	0件	0件	1件	2件	0件

17 ドクターカー出動状況

平成25年5月より北見赤十字病院の保有する周産期救急ドクターカーを北見地区消防組合が協定により運行している。病院前周産期救急診療及び重度傷病者に対する救急診療等が対象となり、医師・看護師及び救急救命士が乗車し早期に診療を開始することで救命率向上を図ることを目的としている。

令和5年中の出動件数は16件で、内訳は急病が1件、転院搬送が13件、医師搬送が2件であった。

18 新型コロナウイルス感染者対応状況

令和5年の新型コロナウイルス感染者に対応した救急出動は208件で、前年より154件減少。搬送人員は198人で、前年より123人減少している。（表18-1）

表18-1 新型コロナウイルス感染者対応状況

搬送種別		宿治療養	自宅療養 (施設含む)	転院搬送	その他	計
年						
R2	出動件数	0	0	5	2	7
	不搬送	0	0	0	0	0
	搬送人員	0	0	5	2	7
R3	出動件数	37	5	2	7	51
	不搬送	1	0	0	0	1
	搬送人員	36	5	2	7	50
R4	出動件数	14	167	13	168	362
	不搬送	0	38	0	4	42
	搬送人員	14	129	13	165	321
R5	出動件数	0	132	9	67	208
	不搬送	0	10	0	0	10
	搬送人員	0	122	9	67	198